

愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会と杭州アジア競技大会組織委員会の  
協力に関する覚書

日本国愛知県名古屋市中区三の丸三丁目2番1号（郵便番号460-0001）に主たる事務所を有する愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会（以下「AINAGOC」という。）と、中華人民共和国浙江省杭州市上城区富春路150号昆仑中心B座（郵便番号310016）に主たる事務所を有する杭州アジア競技大会組織委員会（以下「HAGOC」という。）は、アジア・オリンピック評議会（以下「OCA」という）が主催するアジア競技大会の準備及び運営を行う組織である。

両者は、「スポーツの公平な競争を通じ、スポーツ、文化、アジアの若者のための教育の発展及び道徳的、身体的な能力の発展を助け、国際的な尊敬、友情、親善、平和及び環境の促進に寄与する」という、OCAの基本原則に基づき、アジア最大のスポーツの祭典であるアジア競技大会の準備・運営を行うことを使命としている。

そのため、両者は、2022年、2026年に東アジアにおいて連続して開催されるアジア競技大会が、アジアだけでなく世界から注目される大会となるよう、OCAの支援と助言の下、両大会の成功を目指し、協力することを確認する。

1 第19回及び第20回アジア競技大会の効果的な準備及び大会の成功に向けた協力

両者は、両大会開催期間中及び開催前後期間を通じ、ワーキングミーティングの開催や杭州大会の準備及び運営状況の視察等による情報交換、知見の継承及び人的交流を通じて、両大会を成功裏に開催するために必要となる様々な情報を共有することに取り組む。

2 第19回及び第20回アジア競技大会の盛り上げに向けた協力

両者は、相互の媒体や様々な機会を活用して、互いに両大会の情報発信等に積極的に取り組み、大会機運の醸成を図るとともに、両大会を通じた両国民の交流を促進する。

3 アジアにおけるオリンピック・ムーブメントの促進に向けた協力

両者は、第19回及び第20回アジア競技大会の開催を通じて、OCAの目的のひとつであるアジアにおけるオリンピック・ムーブメント推進に向け協力する。

本覚書は、英語で作成され締結される。本覚書を便宜のために他の言語（例えば、日本語、中国語）に翻訳することができるが、解釈に疑義のある場合は、英語版が優先する。

本覚書は署名当日より効力を生じる。どちらか一方が関係解消を望む場合、解消方法は双方の協議によって決定するものとする。

なお、HAGOC解散後、この覚書の内容は、(i)杭州組織委員会の取組を継承する組織または関係者によって引き継がれ、(ii)実施されるものとする。

2021年12月23日

愛知・名古屋アジア競技大会組織委員会  
事務局長

成瀬 一浩

杭州アジア競技大会組織委員会  
副事務総長

陳 衛強